

リノリウムのメンテナンスレポート

※ポリウレタン表面加工処理されたリノリウムは除く（ポリウレタン表面加工処理されたリノリウムのメンテナンスレポートをご参照ください。）

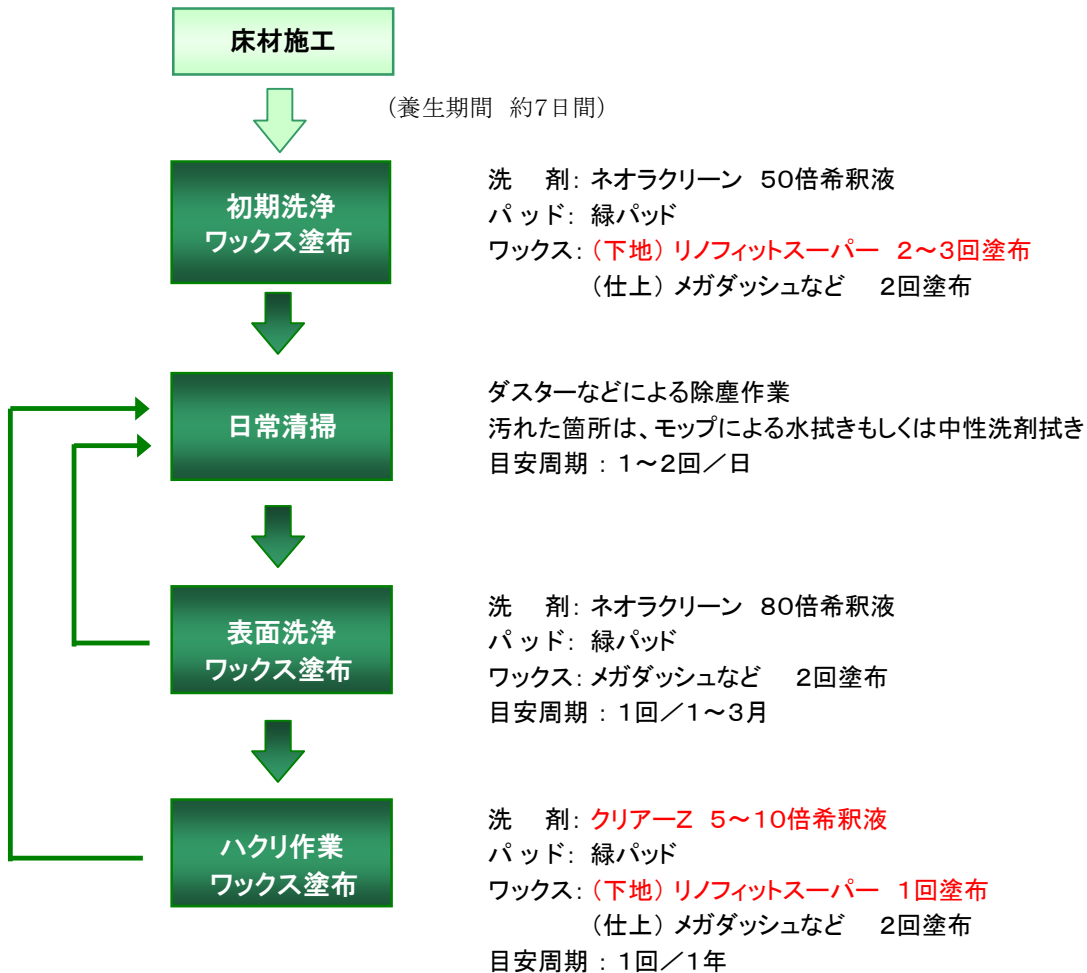
床材の性質

- 耐摩耗性に劣る。
- 吸い込みは比較的少ない。（ただし、床表面が摩耗されると、吸い込みが非常に多くなる。）
- 紫外線（自然光の照射）により、退色する場合がある。
- 樹脂ワックスの密着性に比較的優れる。
- 耐洗剤性に劣る。
 ※アルカリ性ハクリ剤によって変色する。（アルカリ性の床洗剤でも希釈倍率によっては変色することがある。）

メンテナンスポイント&注意点

リノリウムは、木粉やコルクなど天然素材の床材のため、アルカリ性ハクリ剤でハクリ作業を行うと変色したり、パッドの研磨力の影響も受け床表面が激しく荒れてしまいます。そのため、**専用のフロアシーラー「リノフィットスーパー」**でリノリウムを保護し、**ハクリ剤による変色やパッドによる摩耗を防ぐメンテナンス方法が適します**。なお、引き渡し清掃などで既にワックスが塗布されている場合は、中性ハクリ剤でハクリ作業を行ってから、「リノフィットスーパー」を下地に塗布し、仕上げに樹脂ワックスを塗布し維持管理します。仕上用樹脂ワックスとしては、ハクリ性に優れた「パーモソフトテカ」「メガダッシュ」「ECO-100プレミアム」「パーモスターPROEX」（病院現場の場合は「アルテクト」）などが適します。また、リノリウムを「リノフィットスーパー」で保護することにより、アルカリ性ハクリ剤を使用することができますが、溶剤タイプの強力ハクリ剤の使用は「リノフィットスーパー」を侵し、リノリウムを変色させてしまう恐れがあります。そのため、**ハクリ剤としては「リノフィットスーパー」の皮膜に影響しにくいハクリ剤「クリアーZ」を選定**します。

メンテナンスサイクル例



メンテナンスポイントおよび作業方法

初期洗浄・ワックス塗布作業

ポイント

- 床材施工後の養生期間を置いてから、本作業を行います。
- 下地にリノリウム専用シーラー剤「リノフィットスーパー」を必ず2～3層塗布します。**
- 「リノフィットスーパー」は、什器や備品類の下なども塗り残しのないよう、隅々までしっかり塗布します。
※塗り残しがあるとハクリ作業の際、その箇所ですり落し、床材が変色してしまいます。
- 引き渡し清掃などで既にワックスが塗布されている場合は、中性ハクリ剤でハクリ作業を行ってから、「リノフィットスーパー」を塗布します。
- 巾木に付着した洗浄汚水は、乾く前にタオルで水拭きし、拭き取ります。
- 仕上用の樹脂ワックスは、ハクリ性の良いものを選定します。

作業手順

除塵・粗ゴミ除去

＜ダスターや自在ホウキ、チリトリを使用＞

- ・ダスター等を用い、除塵作業を行います。

養生

＜養生マスキングを使用＞

- ・必要に応じ、養生マスキングを用い、什器などが汚れないように養生します。

洗剤塗布

＜洗剤用モップ、床洗剤(ネオラクリン)を使用＞

- ・ネオラクリン50倍に希釈し、洗剤用モップで塗布し、約5分間放置します。
- *洗剤を希釈する際は、計量カップなどもを用い正しく希釈します。

洗浄

＜ポリッシャー、緑パッドを使用＞

- ・ポリッシャーに緑パッドを取り付け、かけムラの無いよう丁寧に洗浄します。
- *洗浄汚水の飛散防止のために飛散防止カバーをポリッシャーに装着します。
- *ポリッシャーが当たらない壁際などは、ハンドパッドで擦り洗いします。

汚水回収

＜吸水バキューム、フロアスクイジーを使用＞

- ・洗浄後は、速やかに洗浄汚水を回収します。
- ・壁際やコーナー部の汚水は、フロアスクイジーを使用します。

水拭き

＜水拭き用モップを使用＞

- ・床面が乾燥する前に、水拭き用モップで3回水拭きします。
- *モップが汚れたら、早めに交換します。
- *面積の広い現場では、自動床洗浄機による水洗浄が効果的です。

乾燥

＜送風機を使用＞

- ・送風機を用い、床面を乾燥させます。

樹脂ワックス塗布

＜ワックス用モップ、樹脂ワックス(下地:リノフィットスーパー、仕上:メガダッシュなど)を使用＞

- ・ワックス用モップで樹脂ワックスを均一に塗り残しのないよう塗布します。
- *塗り重ねる際は、十分に乾燥させてから(ベタツキ感がなくなってから)行ないます。

乾燥

＜送風機を使用＞

- ・送風機を用い、床面を乾燥させます。
- *塗布直後(ワックスが濡れているうち)は、直接床面に風は向けず、最初は上に向けてワックスが乾きだしてから徐々に床面に向けるようにします。

日常清掃

ポイント

- 帯電モップは帯電剤が床面に移り、汚れの原因となることがあるので使用は避けます。
- ヒールマーク汚れは、モップなどで擦り落とします。
- 洗剤を使用する場合は、樹脂ワックスに影響のない中性洗剤を使用します。
- 雨天日は、雨水による汚れや滑りによる転倒防止のため、雨天時用マットを設置し、持ち込まれた雨水や土砂は早めに取り除きます。
- 広い面積の現場は、自動床洗浄機による洗浄が効果的です。

作業手順

除塵・粗ゴミ除去

<ダスターや自在ホウキ、チリトリを使用>

- ・ダスター等を用い、除塵作業を行います。

モップ拭き

<水拭き用モップ、必要に応じ中性洗剤(NEWプロインパクト中性など)を使用>

- ・汚れた箇所やヒールマーク汚れは、モップで拭き取ります。
- *油汚れが多い現場は、中性洗剤(NEWプロインパクト中性 50倍希釈)を使用します。

表面洗浄・ワックス塗布作業

ポイント

- 光沢の低下や汚れが目立ってきたら、本作業を行います。
- 洗剤を希釈する際は、計量カップなどを用い正しく希釈します。
- ポリッシャーが当たらない壁際などは、ハンドパッドで擦り洗いします。
- ポリッシャー洗浄でも落ちないヒールマーク汚れは、ハンドパッドで擦り落とします。
- 床表面が平らでなく不陸がある場合は、ポリッシャーで洗浄する際、横方向だけでなく、縦方向にも掛けます。
- 巾木に付着した洗浄汚水は、乾く前にタオルで水拭きし、拭き取ります。
- ワックスを塗り重ねる際は、十分に乾燥させてから(ベタツキ感がなくなってから)行います。

作業手順

除塵・粗ゴミ除去

<ダスターや自在ホウキ、チリトリを使用>

- ・ダスター等を用い、除塵作業を行います。

養生

<養生マスキングを使用>

- ・必要に応じ、養生マスキングを用い、什器などが汚れないように養生します。

洗剤塗布

<洗剤用モップ、床洗剤(ネオラクリン)を使用>

- ・ネオラクリンを80倍に希釈し、洗剤用モップで塗布し、約5分間放置します。
- *洗剤を希釈する際は、計量カップなどもを用い正しく希釈します。

洗浄

<ポリッシャー、緑パッドを使用>

- ・ポリッシャーに緑パッドを取り付け、かけムラの無いよう丁寧に洗浄します。
- *洗浄汚水の飛散防止のために飛散防止カバーをポリッシャーに装着します。
- *ポリッシャーが当たらない壁際などは、ハンドパッドで擦り洗いします。

汚水回収

<吸水バキューム、フロアスクイジーを使用>

- ・洗浄後は、速やかに洗浄汚水を回収します。
- ・壁際やコーナー部の汚水は、フロアスクイジーを使用します。

水拭き

<水拭き用モップを使用>

- ・床面が乾燥する前に、水拭き用モップで3回水拭きします。
- *モップが汚れたら、早めに交換します。
- *面積の広い現場では、自動床洗浄機による水洗浄が効果的です。

乾燥

<送風機を使用>

- ・送風機を用い、床面を乾燥させます。

樹脂ワックス塗布

<ワックス用モップ、樹脂ワックス(メガダッシュなど)を使用>

- ・ワックス用モップで樹脂ワックスを均一に塗り残しの無いよう塗布します。
- *塗り重ねる際は、十分に乾燥させてから(ベタツキ感がなくなってから)行ないます。

乾燥

<送風機を使用>

- ・送風機を用い、床面を乾燥させます。
- *塗布直後(ワックスが濡れているうち)は、直接床面に風は向けず、最初は上に向けてワックスが乾きだしてから徐々に床面に向けるようにします。

ハクリ・ワックス塗布作業

ポイント

- ハクリ作業を行わない場所との境や、什器下に汚水が流れ込んでしまう場所は、養生マスキングで養生します。
- 下地の「リノフィットスーパー」の皮膜に影響しにくいハクリ剤「クリアーZ」を必ず使用します。
 - ※溶剤タイプの強力ハクリ剤を使用すると「リノフィットスーパー」の皮膜を侵し、リノリウムを変色させてしまいます。
- 「クリアーZ」の希釈倍率(5~10倍)を守り、ハクリ剤やハクリ汚水を床面に長時間放置しないようにします。
 - ※ハクリ剤を塗布してから30分以内にハクリ汚水を回収するようにします。
- パッドは、「リノフィットスーパー」の皮膜を出来るだけ摩耗させないよう緑パッドを使用します。
- ハクリ後(汚水回収後)に水洗浄を行うと、ハクリ剤成分を完全に除去し、ワックスの仕上がりが良くなります。
- 下地にリノリウム専用シーラー剤「リノフィットスーパー」を必ず1層塗布します。
 - ※ハクリ作業で下地の「リノフィットスーパー」が多少摩耗されることがありますので、必ず1層塗布します。
- 仕上用の樹脂ワックスは、ハクリ性の良いものを選定します。

作業手順

